

日本弁護士連合会人権擁護大会プレシンポジウム

高レベル放射性廃棄物の 地層処分を考える

再燃する幌延問題から

東京電力福島第一原発事故を契機として、
原発の再稼働の是非が現在問題となっています。
しかし、原発が再稼働するしないにかかわらず、
原発の稼働によってすでに生じている放射性廃棄物、
とりわけ高レベル放射性廃棄物である使用済み核燃料の処理方法は、
商業用原子炉が稼働してから約半世紀が経過している現在においても
いまだに確立されていません。

北海道及び幌延町では、核のゴミを持ち込むことを認めない旨の条例が
制定されていますが、政府の方針変更により、
どこが使用済み核燃料地層処分の候補地として指定されるか、
幌延町を含め、予断を許しません。

そこで、幌延問題の再燃を契機に、
高レベル放射性廃棄物の地層処分について考えるため、
本シンポジウムを開催することとしました。

2014

8.2

土

参加
無料

センチュリーロイヤルホテル
20階「グレイス」

札幌市中央区北5条西5丁目（JR札幌駅地下直結）

開場：12:00pm

開始：12:30-15:00pm

Timetable タイムテーブル

12:30~12:50	基調報告	報告者：札幌弁護士会弁護士
12:50~13:30	基調講演	講演者：横路孝弘衆議院議員(元北海道知事)
13:35~15:00	パネルディスカッション	パネリスト：横路孝弘 山地憲治 小田 清 コーディネーター：弁護士 木場知則(札幌弁護士会)

Panelist パネリスト



横路孝弘氏

衆議院議員、民主党北海道代表



山地憲治氏

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)
理事・研究所長



小田 清氏

北海学園大学経済学部教授

主催：北海道弁護士会連合会 共催：日本弁護士連合会・札幌弁護士会

お問合せ：北海道弁護士会連合会 公害対策・環境保全委員会 札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館7F TEL 011-281-2428